

2010 Interim Business Report

第9期中間ビジネスレポート

2009年4月1日 » 2009年9月30日



DRECOM®
with entertainment

株式会社ドリコム

<http://www.drecom.co.jp/>

社長インタビュー



代表取締役社長
内藤 裕紀

上期の業績について教えてください

昨今の経済環境の冷え込みが続く中、携帯電話の着メロコンテンツやきせかえコンテンツを提供しているエンタメウェブ事業が計画に対して好調に推移しています。これは、個人向けのサービスが景況感の影響を受けにくいことによるものと考えています。

一方で、法人向けの事業に関しましては、景況の影響は大きく、売上の伸びはやや低調な推移となっております。ただ、エンタメウェブ事業の上振れ分が補っているため、当社の事業全体としては堅調な推移となっております。

事業譲渡を発表しましたがその意図は

当社は設立当初、ブログ事業を中心に展開を進めておりましたためブログの会社というイメージを多くの方に持たれているように思います。

ただ、現状としましては、前期（2009年3月期）における法人向けのブログパッケージ事業の売上は連結売上高において16%に満たず、他方、携帯向けのコンテンツ提供に係る部分は53%となっております。つまり、当社の事業構成は今、設立当初から大きく変わってきている状況にあります。こうした中で、法人向けのブログパッケージ事業と個人向け無料ブログサービス『ドリコムブログ』の譲渡を決定いたしました。

前者の事業につきましては、パッケージソフト販売という収益構造を想定していましたが、お客



様のニーズがSI型のシステム構築の比重が高くなり、その収益構造が保てなくなったため、お客様へのサービス維持を第一に考えて株式会社ガイアックスへの譲渡を決定いたしました。

後者につきましては、当社の展開を考えた場合に注力事業への経営資源の集中が必要となることから譲渡の検討を進めてまいりました。こちらもご利用いただいている方がおりますので、その方々へなるべく負担が少ない形となるよう、株式会社ライブドアへの譲渡を決定いたしました。

今後は、ご利用いただいております皆様へご負担にならないよう譲渡を進めていくとともに、注力事業へ経営資源を集中してまいります。

今後の事業展開についてお聞かせください

当社ではエンタメ分野への取り組みとして、携帯電話の着メロやきせかえコンテンツへの取り組みを行ってまいりました。その次の領域として、ゲーム分野への取り組みを開始しております。

とりわけゲームの中でも、事業間の相乗効果を狙える分野として、ソーシャルゲームに特化してまいります。

海外を見ると、ユーザー数世界No.1のSNS「Facebook」で1位のソーシャルゲームは月間アクティブユーザー数で6,000万人を超える規模のユーザーを抱えています。国内を見ても、mixiで今年の8月下旬からソーシャルゲームの提供が本格的に開始され、まだ2ヵ月経ったところですが、延べ登録者が200万人を超えるアプリがいくつか登場しています。市場の立ち上がりとして、大きな可能性が広がるこの領域で、国内だけでなく海外の展開も視野に取り組みを進めてまいります。

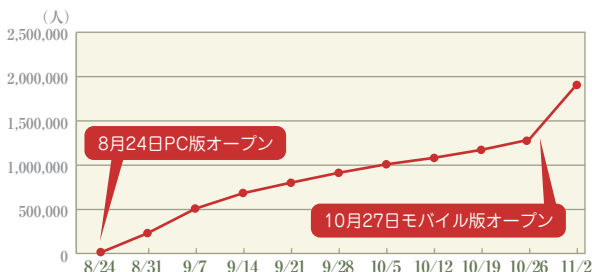


2010年3月期の取り組み

注力事業の概況

当社では2010年3月期の注力事業として、ソーシャルゲーム分野への取り組みを積極的に行っております。2009年8月のmixiアプリの公開にあわせてゲームの提供を開始し、現在では延べ登録者が200万人を超えております。また、関連してソーシャルゲームを収益化するためのサービスとしてポイント連携アフィリエイト広告サービス『poncan』の提供も開始いたしました。

当社提供mixiアプリの延べ登録者数の推移



今後の展開

当社では3つの指針に従いソーシャルゲームへの取り組みを進めてまいります。

①ソーシャルゲームの提供会社としての取り組み

まずmixiアプリへの取り組みを進め、ヒットゲームの提供を狙っていきます。来年1月にオープン化が決まっているモバゲータウンへの取り組みも行ってまいります。

②ソーシャルゲーム関連サービスへの取り組み

ポイント連携アフィリエイト広告サービス『poncan』を軸としてソーシャルゲームの提供会社向けに収益化の仕組みを提供してまいります。

③海外のSNSへ向けた取り組み

「Facebook」や中国のSNSなど、横展開が可能な海外のSNSへ向けてのソーシャルゲーム提供の検討を進めてまいります。

キーワード1 : オープン化

mixiなどのSNS提供会社が第三者（アプリ開発会社など）に向けてプラットフォーム上の一部の情報を開放することをいいます。これにより、SNS上で作られた「友達関係の情報」などを活用できるようになりました。

キーワード2 : ソーシャルゲーム

SNSのオープン化により、得られるようになった「友達関係の情報」を活かして遊ぶゲームをいいます。ゲームを進める上でコミュニケーションが大切な要素となります。

mixiアプリの紹介

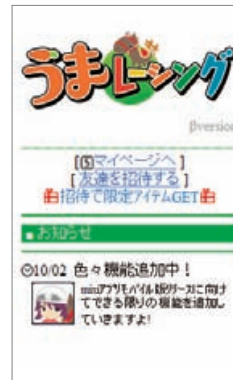
漢字テスト

次々でてくる漢字に答えて解答数を競います。ジャンル別に挑戦できるモードと、連続解答数を競うモードを用意。PC向け、モバイル向けの両方で提供しております。



うまレーシング

馬主になって自分の馬を育てていくゲームです。調教でスピードとスタミナを上げて、マイミクと一緒にかわいがってやる気がアップ。レースで勝利を目指します。モバイル向けに提供しております。



営業の概況

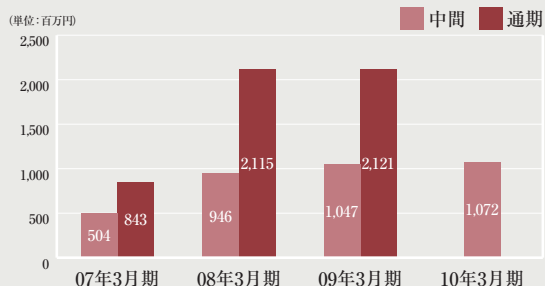
概況

当第2四半期（6ヵ月）における我が国経済は、輸出や生産に伸びが見えてきたものの、世界経済の減速や円高の影響等を背景に勢いは弱く、国内における雇用情勢の一層の悪化やデフレが懸念されるところであり、また、過剰信用の巻き戻しなど世界の金融・経済の不確実性は一層高いものとなっております。このような状況の下、当社グループは携帯コンテンツに関する事業を中心に好調に推移し、費用につきましても当初の予想よりも低く抑えられました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,072,045千円（前年同期比2.4%増加）、営業利益82,809千円（前年同期比695.5%増加）、経常利益79,975千円（前年同期は経常損失3,413千円）、四半期純利益1,706千円（前年同期は当期純損失93,478千円）となりました。

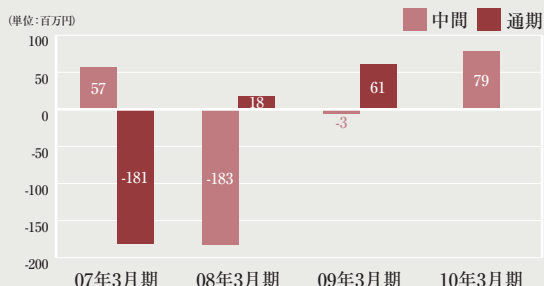
ビジネスソリューション事業

ビジネスソリューション事業では、利益面の改善を目的とした展開を進め、主にストック型収益を重視してまいりました。しかしながら、景気低迷を受けて企業のIT投資意欲は消極的とならざるを得ず、事業といたしましては低調に推移いたしました。以上の結果、ビジネスソリューション事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は344,134千円、営業損失は34,310千円となりました。今後につきましては、通期の見通しにありますとおり、当社の事業の一部を譲渡することで投資の選択と集中を図り、当該部門の経営資源につきましては、ウェブサービス事業へ移行してまいります。

売上高



経常利益



ウェブサービス事業

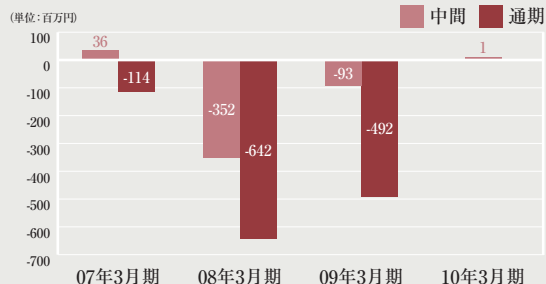
ウェブサービス事業では、株式会社ジェイケンを吸収合併し、携帯コンテンツに関する事業運営が効率化したことから投稿型携帯着信音配信事業や、携帯電話きせかえ事業が引き続き堅調に推移いたしました。また、株式会社じげんにおける業界別総合情報サイトの運営などのインターネット媒体を通じた情報提供事業について好調に推移いたしました。以上の結果、ウェブサービス事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は727,911千円、営業利益は117,119千円となりました。今後につきましては、携帯課金コンテンツ等の既存事業をさらに拡大させるとともに、mixiアプリ等のソーシャルゲームに対する投資を本格化し、事業化を進めてまいります。

通期の見通し

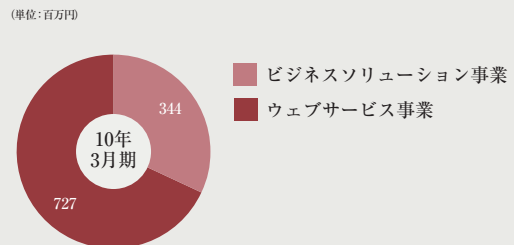
通期に関しまして、業績は好調に推移しておりますが、平成21年10月26日付にて一部ブログパッケージ事業の譲渡を行う他、mixiアプリ等の新規事業への投資を本格化してまいります。また、現在の経済環境が依然不透明であることから変動要因を見込むことが困難であることを鑑み、売上面、利益面の各計画値は現時点では変更しておりません。なお、当該事業譲渡に伴い発生する特別利益につきましては、平成22年1月末日を以って決定いたします。

第3四半期以降の業績につきましては、予想の開示が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

純利益



セグメント別売上高



中間連結財務諸表 (要旨)

中間連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)		科 目	(単位：千円)	
	第9期中間 2009年9月30日現在	第8期 2009年3月31日現在		第9期中間 2009年9月30日現在	第8期 2009年3月31日現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	584,100	651,360		497,035	561,952
受取手形及び売掛金	439,548	449,242	固定負債	127,600	193,800
商品及び製品	294	355	負債合計	624,635	755,752
仕掛品	257	—	(純資産の部)		
原材料及び貯蔵品	1,525	2,054	株主資本	1,311,410	1,301,361
繰延税金資産	1,713	19,149	資本金	1,042,338	1,038,166
前払費用	36,063	33,542	資本剰余金	1,283,318	1,279,146
その他	551	13,444	利益剰余金	△1,014,245	△1,015,952
貸倒引当金	△18,249	△17,779	新株予約権	3,874	7,918
流動資産合計	1,045,805	1,151,369	少数株主持分	114,565	110,346
固定資産			純資産合計	1,429,850	1,419,626
有形固定資産	42,217	45,041	負債純資産合計	2,054,486	2,175,378
無形固定資産	875,985	892,993			
投資その他の資産	90,477	85,973			
固定資産合計	1,008,680	1,024,009			
資産合計	2,054,486	2,175,378			

中間連結損益計算書

(単位：千円)

第9期中間
2009年4月1日～2009年9月30日

科目	
売上高	1,072,045
売上原価	288,853
売上総利益	783,192
販売費及び一般管理費	700,383
営業利益	82,809
営業外収益	1,971
営業外費用	4,806
経常利益	79,975
特別利益	7,156
特別損失	12,021
税金等調整前四半期純利益	75,111
法人税、住民税及び事業税	39,795
法人税等調整額	29,390
法人税等合計	69,185
少数株主利益	4,218
四半期純利益	1,706

連結財政情報に関する定性情報

当第2四半期末の総資産は2,054,486千円となり、前連結会計年度末に比べ120,892千円減少しました。その主な要因は、当社の完全子会社であります株式会社ジェイケンとの合併による繰延税金資産の回収可能性の見直しに伴う取崩しによる繰延税金資産の32,479千円減少に加えて、有利子負債の返済を66,200千円行ったことや法人税の支払による未払法人税等52,278千円の減少などがあったことによるものであります。

自己資本比率につきましては、新株予約権の権利行使等により資本金および資本準備金が8,342千円増加したことにより、自己資本が10,049千円増加したことに加え、負債が131,116千円減少したことにより63.8%と前連結会計年度末から4.0ポイント改善いたしました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

第9期中間
2009年4月1日～2009年9月30日

科目	
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,502
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,857
現金及び現金同等物の増減額	△67,259
現金及び現金同等物の期首残高	651,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	584,100

ドリコム の 取 り 組 み

私たちドリコムは、「with entertainment」というキャッチフレーズのもと、革新的なサービス・プロダクトを法人向け・個人ユーザー向けに提供してまいります。2010年3月期はゲーム&コミュニケーション分野を注力事業として、ソーシャルゲームへの取り組みを進めます。

エンタメウェブ事業

ミュージックコンテンツ

投稿型メロディサイトの運営や着うたなどのコンテンツやその他、着メロ関連サービスの提供



グラフィックコンテンツ

きせかえコンテンツの企画提供や、メールコンテンツの提供



ゲーム&コミュニケーション

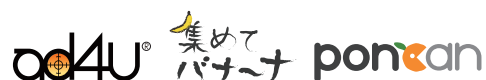
mixiなどのSNS上で遊べるソーシャルゲームの提供



マーケティングソリューション事業

アドソリューション

独自の行動ターゲティング広告技術サービスや、mixiアプリ向けポイント広告サービスの提供



メディア

日本最大級の転職・求人情報サイトや、中古車情報サイトなどの運営



ウェブマーケティング

CMSサービスや社内向けブログのASP提供



株主メモ

株式情報・会社概要

株式の状況 (2009年9月30日現在)

発行可能株式総数	43,520株
発行済株式の総数	26,876株
株主数	1,531名

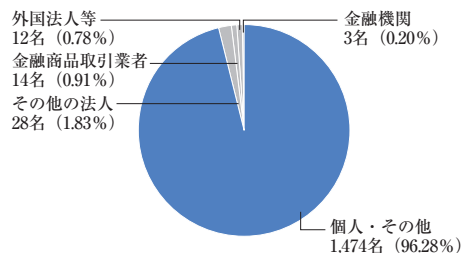
大株主 (上位10名) (2009年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
内藤裕紀	11,160	41.52
楽天株式会社	5,350	19.91
廣瀬敏正	1,322	4.92
井上陽平	1,172	4.36
安藤正樹	995	3.70
小上勝造	894	3.33
NECネクサソリューションズ株式会社	400	1.49
浅井一希	224	0.83
齊藤雄介	160	0.60
菅原勇祐	150	0.56

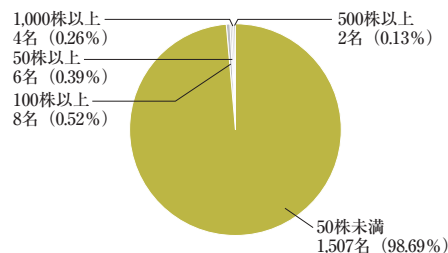
会社概要 (2009年9月30日現在)

商号	株式会社ドリコム
本社所在地	〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目31番18号 高田馬場センタービル3階
設立	2001年11月13日
資本金	1,042百万円
代表取締役社長	内藤裕紀
従業員数	連結145名 単体 96名
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> モバイル/PC向けのエンタメコンテンツの企画・提供 マーケティングソリューションの開発・提供

◆所有者別分布状況



◆所有数別分布状況



役員 (2009年9月30日現在)

代表取締役社長	内藤 裕紀
取締役副社長	菅原 勇祐
取締役	川島 南
取締役	杉本 師
取締役	南村 本
取締役	島田 瀬
取締役	南村 士
取締役	島田 廣
取締役	南村 長
取締役	島田 前
取締役	菅原 谷
取締役	藤原 村
取締役	本師 瀬
取締役	川田 敬
取締役	一 弘
取締役	敏 敬
取締役	敬 充
取締役	紀 祐
取締役	夫 亨
取締役	三 志
取締役	幸 正
取締役	起 章

連結子会社 (2009年9月30日現在)

- 株式会社ドリコムマーケティング
- 株式会社じげん
- 株式会社ドリコムテック

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎: 0120-176-417
(インターネットホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株主電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社のホームページに掲載する。 http://www.drecom.co.jp/ir/kessan/
上場証券取引所	東証マザーズ

ホームページ/IR情報のご案内

当社に関する最新動向や情報をお伝えしております。



<http://www.drecom.co.jp/>

株主さま向け
アンケート

株主の皆さまの声を お聞かせください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **3793**

いいかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com